

ウィズチャイルド新事業案

「選べる・学べる・生活できる」ウィズチャイルドの学童生活施設

概要：

- * 聖蹟桜ヶ丘駅より徒歩 5 分。保育所併設型の園庭付学童園舎。
- * 定員 30～40 名。1～6 年生まで対象。
- * 平日下校時～20：00。土曜、休校日、夏休み等は 7：30～20：00。
- * 小学校へのお迎えサービス（指定エリア）
- * 習い事先への送迎サービス（指定エリア）
- * 宿題補助あり
- * おやつ・夕飯あり
- * 自立を助けるモンテッソーリ教育環境
- * カフェ併設
- * イベント(サマキャンプ・アート祭り・博物館遠足など)

学童保育の新しいかたち ～地域で暮らす、途切れのない子育てサポート～

◆12years Child Care Support **子育ての新たな概念**（今までなかったサポート体制）

- 保育サポート 【0 歳～小学校卒業まで子育ての継続的サポート】
- 地域サポート 【高学年児童や地域ボランティアなど多様な人間に見守られながら暮らす】
- セルフサポート 【選べる生活環境の中で自分で生きる力を培う】

◆Greatest Concern **親にとっての最大の関心事である【3つのS】**

- ①Shift（移行） 小学校や学童施設に上手になじめるだろうか？
⇒保育所併設型で幼児期から学童との自然な共同生活を実現。
- ②Safety（安全） 不審者や事故の心配を解消したい。
⇒送迎サービス・地域の目の中で過ごす・多様な年齢との関わり
- ③Skill（スキルアップ） 自立させたい+習い事をさせたい
⇒選べる環境、宿題補助、習い事教室との連携

◆Feeling Satisfaction **生きる時間への満足感を得る**

ウィズチャイルドが提供するのは QOL（quality of life）＝【生きがい】を生み出せる環境です。人は自らの人生において、自分で選んだ生活の中で、自分の力で充実感を得る事が大切です。その為に私たち大人には、興味深く質の高い生活環境を整えることが求められるのです。そして環境づくりに欠かせないのが、異年齢との関わり、地域とのつながりなのです。

◆Montessori Method **心を落ち着けて集中力を養う**

国際モンテソーリ教師による専門教具を使った活動で、時には静寂の中に身を置き集中力を磨く事で、精神の自律を促します。日常生活・言語・数・感覚・文化の5分野から成り、楽しみながら自由と規律の世界を学べます。

◆Reasonable Fees **最大限お得な利用料金へ**

この充実感で月額保育料 21,600 円～。

例えば毎週(月)～(金)に一日 5h 施設利用した場合の月額利用料金を時間換算すると 360 円/h。

なぜ民間学童でここまでリーズナブルにできるのか？

理由は「コラボ」してるから。

一般的には、単独事業である場合、採算を取るために高額な料金設定が必要となるが、ウィズチャイルドは、保育所、子育て広場、カフェ、地域ボランティア活動、近隣事業等とのコラボで成り立つことを前提としているからだ。大きな利益は出ないが、みんなが少しずつ幸せをシェアできることを目指すから成り立つ料金設定である。

※あくまで仮設定ではあるが、利用料金概要は以下のとおり。

<利用料金（案）>

A 施設到着時～	平日利用月額 (おやつ代込)
週 3 日	21,600 円
週 4 日	28,800 円
週 5 日	36,000 円

B 土曜日・休校日・一時利用	
時間計算	500 円/h
日割計算	3,000 円/日
月極計算	48,000 円/月 (昼食代込)

C
昼食提供(12:00～目安) 夕食提供(18:45～目安)
一食 500 円

ニーズ調査

- ① このような学童生活施設が実現したら利用したいですか？（27年度から何年生として？）
- ② スクエア 5F にて数名の試験運用も検討しています。すぐにでも利用したいですか？
- ③ このほかに皆様はどんなニーズをお持ちですか？
- ④ 卒園後、小学校への移行を終え、保育所時代に経験させておきたかったと感じた事があれば教えていただけますか？

◆最後に

最後までお読みいただき感謝申し上げます。未だ構想段階である為、皆様からいただくご意見を踏まえながら今後もより良い姿に変えていきたい想いです。ご意見、ご質問もぜひお寄せ下さい。そして利用希望が 20 件を超えた時点で、このプロジェクトは実現に向けて動き出します。皆様のお声をぜひお寄せ下さい。

※ニーズ調査へのご返答は、メールへの返信、もしくはホームページの学童欄へのコメントどちらか片方にてお願い致します。ご協力に感謝致します。

※その後の展開については随時ホームページにアップ致しますのでご覧下さい。

※「子ども子育て新制度」についての進捗状況についてもホームページにてご確認できます。

※今後、ウィズチャイルドからのメール配信を受けたくない方は「中止希望」とご返信下さい。

ありがとうございました。皆様とお子様の更なるご健勝を心よりお祈り申し上げます。

株式会社ウィズチャイルド
代表取締役 田中铁太郎

○参考資料 事業計画書(案)より抜粋

経営に対する基本方針

『幸せを生み出せる環境づくりに全力で取り組む』(会社理念は同じ)。

『生活』できる学童保育。塾の経営や、英会話などの習い事に特化した民間学童が大人気であるが、当社の学童は『地域と関わる』『生きる力を身につける』事に重点を置く。

学童保育を取り巻く現状

- ・当保育所は20:00までの保育ニーズを受入れているが、卒園後の近隣学童クラブは最大延長で19:00までしか運営していない。『小1の壁』
- ・小規模保育所から小学校や大規模学童クラブへの急激な環境の変化に対する不安が大きく、保育所による卒園後の継続的子育て支援のニーズあり。
- ・近隣の多摩第一小学校では新設の学童クラブに待機児童が生じている。入れない。
- ・4年生以降の利用枠がない『小4の壁』現実には3年生から使えなくなる現実あり。
- ・内容への不満、質の向上を望む声。精神的ケア+勉強+習い事など、幅が広い。
- ・平成27年3月を以って一ノ宮地区唯一の学童クラブが閉鎖(東寺方小学校内へ移転)となること。不便になるとの声もある。
- ・保育所との連携不足の声。
- ・学童クラブや習い事教室までの送迎ニーズもあり。

社会背景と事業への動機

ここ数年、毎年のように少数ではあるが当園での学童預かりを要望する声が保護者から挙がっている。過去に一度取組んだ経緯もあり、再度実情を探るため、一ノ宮学童と多摩第一学童へ視察に行き、新制度の流れも含め今後の必要性を検証してみた。

待機児童問題はなにも保育所に限ったことではない。学童保育施設もまた多様なニーズへの応答に乗り遅れている。26年4月の多摩市新設の多摩第一小の学童施設が定員100名で始動。しかしほぼ1~2年生だけで定員を満たし待機児童が生じている。加えて来年3月をもって一ノ宮地区から学童施設が消える。東寺方小学校内に規模拡大して移転するのだが、駅前である一ノ宮地区にニーズがないのかというところというわけではない。例えば夜遅くまで共働きする親にとっては当保育所同様に立地の利便性は施設選びの上位にあることに変わりはない。17時以降はお迎えに行かなければならないからだ。当保育所は20時までの保育を受け入れているが、近隣の学童施設は延長しても19時で閉所する。卒園すると途端に今までの子育てへの支援が途切れてしまうことには問題を感じる。夜間に限らず、卒園後もより良い育ちへのケアを継続的に受けることができる環境を創りたいと思った。それが保育所併設型学童施設案である。現存する学童クラブは当保育所との連携は全くない。数の不足に加え、小学校入学と共に今まで通りに親が働けなくなる『小1の壁』が存在する。また現在近隣では保育所併設型の学童施設はない。最も学童利用率の多い小学1年生の親は、学童保育に対し最も不安を抱く層であり、確実に保育所との連携を望んでいる。特に入学当初は勉強や習い事の支援よりも、むしろ子ども自身への精神的ケアが強く求められる。しかしながら実際は満たされていないとの声も聴く。そういった環境下では、子ども自身が1~2年で自ら退所希望し、ひとりで留守番している現実もある。また学童施設を利用できなくなる『小4の壁』もひとつの社会問題となっている為、今後子ども子育て支援新制度では6年生までを対象とした学童施設の整備を推進していくことになった。しかしまだ現状では近隣には存在しない。

施設活用の展望

当社が実現したい施設は、学童だけで過ごす施設ではなく、学童が地域と共に過ごせる施設である。保育所に併設することで互いに行き来できる環境下にし、連続性のある育ちのサポートを実現する。「いつも我が家がある」という精神的安定を重視した少人数制コミュニティの中で、まさに「生活」を営む時間を保障してあげることが保育上の観点からも重要であると考え。

よって、主たる事業は学童保育であるが、施設にはカフェも併設し、地域の方の憩いの広場としても活用できるようにする。お年寄りや妊婦、保育所を利用しない家庭層、はたまた保育所帰りの親子の更なる交流の場として機能し、それぞれの層がこの場で関係を持ち合うことでコミュニティが成り立ち「生活」を一層豊かにすることが可能となる。また、保育所の豊富な知恵と技を生活広場全体へ提供することができる。例えば保育所のおやつなどをカフェで食べることもできる。そのほか当該保育所には経験豊かな保育士、幼児教育専門員、看護師、栄養士、また障害児のペアレントメンターが在籍する為、そういった専門相談や情報提供の場が日常的に対応可能となる事も大きな地域貢献への可能性に繋がる。或いは逆に、地域の方の知恵と技を保育所や学童施設へと繋いでいただくこともできる。

そして、多様な人間のコミュニティの中に自然に溶け込むように放課後を過ごす小学生がそこにいる。日々あたり前の光景として、カフェを手伝う児童・保育を手伝う児童・お年寄りと将棋を打つ児童・友達とサッカーをする児童・庭で犬と戯れる児童・静かな部屋で読書する児童・日用大工を楽しむ児童・・・様々な生活空間を自分で選べる場所、多様な年齢層の他者との関わりを持って過ごせる場所、そんな学童施設を実現したい。ひとつひとつの子育て家庭をウィズチャイルドを通じて社会全体と繋ぐコミュニティを実現したい、と考える。この想いに同意下さる方々の中に、コラボするアイデアなどあれば募集したい、また応援の声も集めたい、と考える。

株式会社ウィズチャイルド